

第6回作物根コロキウムについて

北海道大学農学部 岩間和人

1994年8月20日に、北海道大学農学部において、日本作物学会秋季講演会の小集会として、筆者の司会で、第6回作物根コロキウムが開催された。講演者は、山口淳一（北大農）、有原文二（北農試）、波多野隆介（北大農）、平沢 正（東京農工大農）、原田二郎（佐賀大農）の5氏で、「作物の根系に理想型は存在するのか」の題目についてお話頂いた。講演者は、作物形態学、生理学、栄養学そして土壌学の各分野における第一線の研究者であり、それぞれ20分程の短時間であったが、当該題目についての所見を各人の実験結果に基づいて極めて精力的に述べて頂いた。その後、討論に移ったが、話題提供の分野が多岐に渡ったことがかえって災いして、議論がなかなかかみ合わなかった。参加者の一人からは、どうしてこのような題目を選んだのかとの質問がなされ、題目選定の責任者である司会者が対応に四苦八苦する場面も生じた。しかし、本集会での話題提供および議論により、「根系の理想型」とは何を目的としたものか、またその前提となる条件は如何なるものかについての共通認識を形成することが、当該題目についての議論を進めるための前提条件として必要であることが明らかになったものとする。

1994年5月21日-22日に、佐賀県唐津市近代図書館において第2回JSRRシンポジウム「植物根系の理想型」が開催されました。その成果は1995年に博友社から単行本として発行になる予定で、現在組織委員長の山内 章さん(名古屋大学農学部)を中心に編集作業を進めております。また、この成果を踏まえて、1995年8月22日に福井県福井県立大学で開催される第2回アジア作物学会議の中で、ミニシンポジウムとして「イネの理想型根系」を開催する予定です。詳細につきましては、本号の該当ページをご覧ください。

(事務局)